

昨年4月にトヨタのメディア懇談会を開催し、本日は右に引き続いての2回目のこの種のイベントとなります。春爛漫のJWDエアクラートまで遠路御参集頂き感謝します。なお、昨年も申し上げましたが、私がJWDと言う時には、Japan im Westen Deutschlands という意味ですので、念のため。

日本国政府として、海外で活躍する日本企業の支援とともに、日本の優れた技術の情報発信に力をいれているところであり、本日、日本を代表する自動車メーカーであるトヨタと共同でメディア懇談会を開催することができ大変嬉しく思います。

昨年のメディア懇談会では、燃料電池自動車「MIRAI」にフォーカスしました。MIRAIは、水以外のEmissionがないという世界一クリーンな自動車です。昨年8月のNRW70周年のパレードで日本人集団の先頭にMIRAIが立ち、デュッセルドルフの旧市街を行進して市民の注目を浴びました。私からクラフト州首相に、「MIRAIから作られた水です」と言って、手に持っていたミネラルウォーターのペットボトルを差し上げましたが、結構受けていたように思います。

ドイツにおいても、未来の水素社会に注目する方々がたくさんおり、Rimkus 連邦議会議員から、独日議連の訪日時に水素ステーションで取った写真を見せてもらった経緯があります。また、NRW州と協力関係にある福島県が、日本における水素社会の拠点と位置づけられています。

さて、今年のメディア懇談会の主役は、最新のプラグインハイブリットのプリウスとのことです。トヨタは1990年代に世界初の量産型ハイブリット自動車プリウスの販売を開始して以来、ハイブリッド技術により、自動車業界の環境技術をリードしております。トヨタは、未来志向（zukunftsorientiert）であるのみならず、誰にもアクセス可能（zugänglich）です。

また、本日はプリウスの他にトヨタが提供する高級ブランドであるレクサスや最新小型SUVのC-HRも展示して頂いております。レクサスは、2016年の米国における高級車市場では、BMWを抜き、メルセデスに次ぐ2番目の販売台数となっております。ドイツ市場においても、レクサスブランドやC-HRが更にシェアを伸ばす事を期待しております。

トヨタはまた、トランプ大統領から名指しで厳しいツイッターによる批判を受けていること、BREXITとの関連で英国での生産がどう影響を受けるのかについても注目されています。その意味では、欧州大陸、就中NRW州が保護主義に対抗する形で自由貿易の先駆者の役割を果たし、トヨタにとっての未来を提供す

ることになれば、私としても大変嬉しく思います。NRW 州は BREXIT に伴って英国から NRW 州への日本企業の移転に関心を持っていると承知しています。この際 NRW 州のメディアからもトヨタの工場の NRW 州への移転を提唱していただき、ついでに日 EU・EPA の早期締結も働きかけていただいたらどうかと思っている次第です。

本日は、環境分野を中心とするトヨタの活動とトヨタの最新モデルをご覧頂き、トヨタがドイツ市場でその名と技術に相応しい位置を占めることができるよう、皆様の支援を頂ければ幸いです。

御清聴ありがとうございました。